

たいらほいくえん

ほけんだより

感染性胃腸炎に注意しましょう

寒さが厳しくなる季節は、インフルエンザや風邪などと共に感染性胃腸炎(嘔吐下痢症)が多くなってきます。子どもばかりでなく、大人にも感染しますので、処理においては、注意が必要です。

原因・症状

ノロウイルス・ロタウイルスなどのウイルスが主な原因です。潜伏期間は1~2日程度です。症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛が見られます。発熱する場合があります。ロタウイルスによる場合は、便が白っぽくなる場合があります。

家庭でのケア

下痢、嘔吐のあるうちは、園を休ませましょう。また、激しい下痢などで脱水症状にならないように水分補給を心がけましょう。

嘔吐物や便にはウイルスが含まれていますので、処理をする人は手洗いなどをきちんと行いましょう。

予防対策は

外出後、食事前などにこまめに手洗い・うがいをしましょう。また、早寝・早起きや栄養バランスの良い食事と規則正しい生活を心がけましょう。

嘔吐物の処理方法

用意するもの

- ・使い捨て用の手袋
- ・使い捨てマスク
- ・使い捨てエプロン
- ・ビニール袋
- ・ふき取り用の布やペーパータオル
- ・塩素系漂白剤

- ①手袋とマスク、エプロンをして、ペーパータオルなどで静かにふき取る。同じ面で何度もこすらないようにする。
- ②使用したペーパータオルなどはすぐにビニール袋(二重)に入れて、その中に塩素系漂白剤を入れて捨てる。
- ③嘔吐物がついた床などは、塩素系漂白剤(薄めたもの)をしみ込ませた布やペーパータオルなどで覆い、ふき取る。
- ④処理後は手袋を外し、手洗いを丁寧に行う。手袋やマスクは使用済みペーパータオルなどと同じように捨てる。

